関東学生柔道体重別選手権大会　競技・審判規定細目

１．審判規定

　１）最新の国際柔道連盟試合審判規定（2018-2020）を準用する。

　２）審判は１審制とし、ケアシステムによるビデオ確認を行う。

 ３）判定基準は「技あり」以上、または「反則負け」とする。

 ４）「柔道衣の乱れに対する新たな罰則」について、本大会においても導入する。各大

学においては、別紙「柔道衣の乱れに対する新たな罰則（指導）の施行について」

を周知すること。

２．「両者反則負け」の取り扱いについて

　１）男女とも1回戦～準々決勝前までに発生した場合、以後一連の試合には両者とも出場

　　　できない。なお男子においては、体重別団体のポイントは従来通りに付与する。

　２）男女とも準々決勝以降に発生した場合、4分間の本戦内においては、主審は

「それまで」を宣告し、ただちに延長戦（ゴールデンスコア）に入る。また延長戦

で発生した場合は再度延長戦を実施する。

なお**「両者反則負けにより実施される延長戦」の場合に限り**、先にポイントをあげた

選手の勝ちまたは先に罰則を与えられた選手の負けとし、勝敗が決するまで行う。

（一部2017ルールの適用）

　３）男女とも代表決定戦または補欠決定戦で発生した場合、前項２）に倣う。

３．「嘔吐による棄権」の取り扱いについて

　１）試合者が試合中に「嘔吐」した場合、いかなる場合であっても当該選手の「棄権

負け」となる。

　２）男女とも準々決勝で「棄権負け」となった者は、以後の「代表決定戦」または「補欠

決定戦」に出場することは、原則として出来る。ただし感染症の疑いがある場合や、

体調が悪いことが見て取れる場合は、当該選手所属大学の指導者はその判断により

出場を停止させる。なお明らかに感染症の疑いが強い場合は、大会本部は強制的に

出場を停止させる権限を有する。

　３）大会本部は、出来るだけ大会会場と隔離された別室にて当該選手の経過観察を行い

　　　併せて当該選手所属大学の指導者・主務等から、前日～当日までの健康状態のヒア

リングを行う。

　４）経過観察中に、少しでも体調の変化（悪化）が見られた場合、大会本部は速やかに

医療機関搬送の要請を行う。

以　上